

東地中海の海洋文明

- (1) 東地中海での海上交易がさかんに(前3千年紀後半)→エーゲ文明…海洋性に富む文明
- ① [㉑] (ミノア文明) …民族系統不明
クレタ島のクノッソスに大規模宮殿 考古学者エヴァンズ(英)が発掘
青銅器文化 「線文字A」(未解読)の使用
- ② [㉒] (前16世紀ごろ) …ギリシア系(インド・ヨーロッパ語系)
ミケーネ、ティリンスなどに城塞のある王宮中心 貢納組織と官僚制をもつ国家
「線文字B」の使用→ヴェントリス(英)が解読
→「海の民」の襲撃などで崩壊(前12世紀)
- (2) ギリシア系の人々→方言の差異で [㉓], [㉔], [㉕] へ分化
- (3) トロヤの遺跡…シュリーマン(独)が発掘

ポリスの成立

- (1) [㉖] (前8世紀ごろ) …ギリシア人の定住形態
アクロポリス(城塞)・アゴラ(広場)を中心に集住(シノイクスモス)する都市国家
交易活動さかん→地中海・黒海沿岸に植民市の建設
- (2) 共通の言語、同一民族としての自覚([㉗]の祭典や [㉘]の神託を通じて)
自民族:ヘレネス 他民族:バルバロイ
- (3) ポリス社会の変化
貨幣の使用(前7世紀)→商工業の発達→富裕市民の出現… [㉙]としてポリス軍の主力
←奴隷に転落する平民(債務奴隷), 貧富の差の拡大→ポリス秩序再編の動き

アテネとスパルタ

- (1) [㉚] (アテナイ) …イオニア人のポリス
前7世紀…ドラコンの立法…慣習法を成文化
前6世紀初頭 [㉛]による貴族と平民の対立の調停
…負債の帳消しや、財産に応じた国政参加の権利義務の規定(財産政治)など
前6世紀 [㉜]による独裁政治…ペイシストラトスは中小農民を保護
前6世紀末 [㉝]の改革…従来の部族を解体しデーモス(区域)による10部族制を創設
[㉞](オストラキスモス)制により僭主の出現防止を企図
- (2) [㉟] …ドーリア人のポリス 征服型ポリス→土地所有の平等が実現(前8世紀)
- ①少数の市民がペリオイコイ(劣位の市民)や被征服先住民である [㊱](隷属農民)を支配
- ②リュクルゴス体制…軍国主義の生活様式(市民は幼年期より訓練を受けて重装歩兵に)
きびしい鎮国体制

ペルシア戦争と民主政

- (1) [㊲]戦争(前500~前449) …ギリシア vs アケメネス朝ペルシア帝国
- ①イオニアのポリスの反乱をアテネが支援→ペルシア帝国がギリシアに遠征
- ②マラ톤の戦い(前490) …アテネがペルシアに勝利
- ③サラミスの海戦(前480) …テミстокレス指揮下のアテネがペルシア海軍を撃破
- ④プラタイアイの陸戦(前479) …アテネ・スパルタ連合がペルシアに勝利
→ペルシアの再来に備えて [㊳]結成…盟主アテネが他のポリスを威圧
- (2) アテネの民主政…軍船(三段櫂船)の漕ぎ手として下層市民が活躍→国政へ参加
[㊴]指導下で [㊵]実現…全成年男性市民の民会, 公職は市民から籤で選ばれる

ペロポネソス戦争とポリスの変容

- (1) [㊶]戦争(前431~前404) …デロス同盟の盟主アテネ vs ペロポネソス同盟の盟主スパルタ
→アテネは煽動政治家(デマゴーグ)による衆愚政治→ペルシアが支援するスパルタにやぶれる
- (2) スパルタの衰退→テーベが覇権握る
- (3) 傭兵による戦争→市民がポリスを自衛する原則の崩壊

ギリシアの古典文明

人間中心の考え方, 合理的な精神

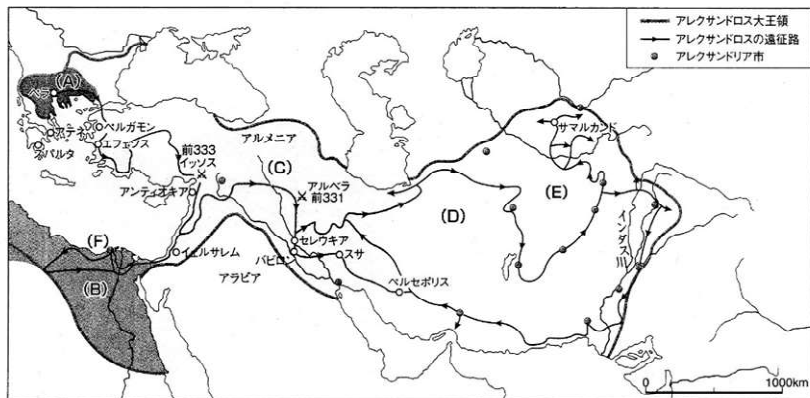
- (1) [㊷]の信仰
- (2) 文学 ①叙事詩(前8世紀ごろ) [㊸]「イーリアス」「オデュッセイア」…トロヤ戦争の記述
[㊹]「神統記」…神々の系譜 『労働と日々』…農耕生活の教訓詩
②叙情詩(前7世紀ごろ) 女流詩人サッフォー…恋愛詩 ビンダロス…オリンピア讃歌
③三大悲劇詩人(前5世紀) アイスキュロス, ソフォクレス, エウリピデス
④喜劇 [㊺]「女の平和」「女の議会」
- (3) 彫刻 [㊻]「女神アテナ像」 プラクシテレス
- (4) 神殿建築 ①重厚なドーリア式… [㊼] → ②優美なイオニア式 → ③繊細なコリント式
- (5) 自然哲学 [㊽] …万物の根源は水 ヘラクレイトス…万物流転
[㊾] …万物の根源はアトム(原子) ビタゴラス…万物の根源は数(数学の基礎)
ヒッポクラテス…「医学の父」
- (6) [㊿] …弁論術の教導 プロタゴラス…人間は万物の尺度(相対主義)
- (7) アテネの哲学 [㊱] …真理の絶対性, 知徳合一
[㊲] …イデア論, 理想国家論
[㊳] …諸学問の集大成
→イスラーム世界や中世ヨーロッパの学問へ影響
- (8) 歴史 [㊴] …ペルシア戦争の物語風歴史
[㊵] …ペロポネソス戦争史の批判的考察

アレクサンドロス大王の東方遠征

- (1) マケドニア王^① [] …カイロネアの戦い(前338)で勝利
 []のもとにギリシア諸ポリス支配
- (2) 息子^② []の東方遠征(前334～前324)
 - ①イッソスの戦い(前333)でペルシア王大ダレイオス3世をやぶる→ペルシア帝国滅亡(前330)
 - ②ギリシア～中央アジア～インダス川流域までの大帝国建設 東西世界の融合を企図

ギリシア系王国の分立

- (1) アレクサンドロス大王の死(前323)→ディアドコイ(後継者)の争い
- (2) アンティゴノス朝マケドニア, セレウコス朝シリア, []エジプトの分立
- (3) セレウコス朝支配下の東北部…バクトリア王国, パルティア王国の自立(前3世紀)
 オリент各地にギリシア人移住, 各地にギリシア風都市建設
 ギリシア風(ヘレニズム)文化が広く受容
 →アレクサンドロスの遠征からプトレマイオス朝滅亡までの300年間=ヘレニズム時代



↑アレクサンドロスの東方遠征とヘレニズム世界

ヘレニズム文明

- (1) 共通語(コイネー)としてのギリシア語により諸科学が集大成
- (2) 自然科学 アリストタルコス…地球の自転・公転
 - [] …ユークリッド幾何学
 - [] …浮体の原理
 - エラトステネス…地球の周囲の長さを計測
- (3) エジプトの [] …ヘレニズム文明の中心地
 ムセイオン(研究所) …学問の中心
- (4) 哲学 ゼノンを祖とする [] …禁欲 エピクロスを祖とする [] …精神的快樂
- (5) ヘレニズム美術 「ミロのヴィーナス」など
- (6) 歴史 ポリビオス…政体循環史観のローマ史